

# ちよつと昔の 道具たち

～あかり～

## ◆体験教室

### 「わらぞうりを作ろう」

2月5日(日) 13時～16時

定員15名 参加無料

電話でお申し込みください

## ◆市民歴史大学

### 「倭の五王の時代」

1月21日(土) 13時30分～

荊木 美行氏

(皇學館大学史料編纂所教授)

### 「倭の五王はだれなのか -南朝冊封体制とヤマト政権-」

2月4日(土) 13時30～

白石 太一郎氏

(大阪府立近つ飛鳥博物館館長)

### 「古墳から見た倭の五王」

定員100名 参加無料 申込不要

## 柏原市立歴史資料館

月曜休館 入館無料 開館 / 9:30～16:30

大阪府柏原市高井田 1598-1

電話 072-976-3430

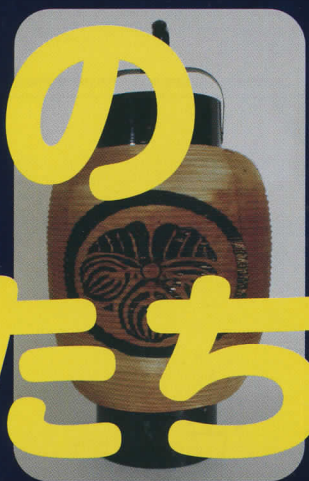
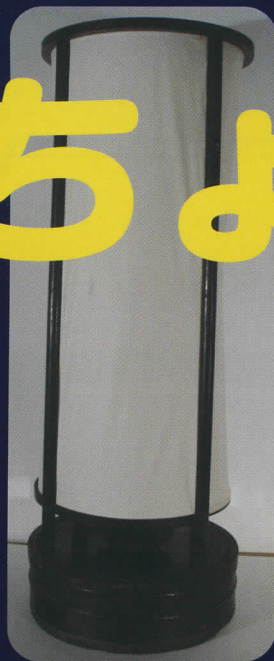
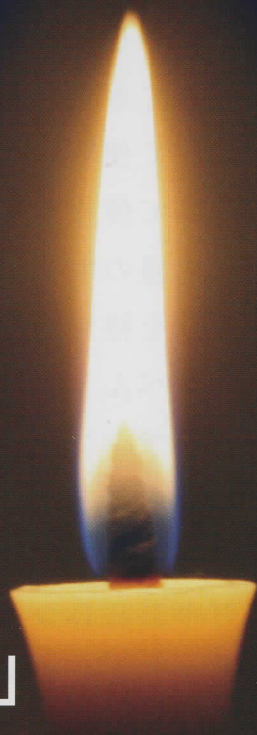
交通 JR 大和路線 高井田駅から徒歩 5分

近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩 15分

2012年

1月7日(土)～

3月4日(日)



# ～あかり～



てしよく  
手燭

くら よる て  
暗い夜を照らすあかりは、とてもありがたいものです。むかしから、人々はあかりを求めて、新しい道具を生み出したり、いろいろなくふうをしてきました。

むかしは、あかりといえば火のことでした。あかりのために木を燃やし、油を燃やし、ろうそくやランプを発明してきました。

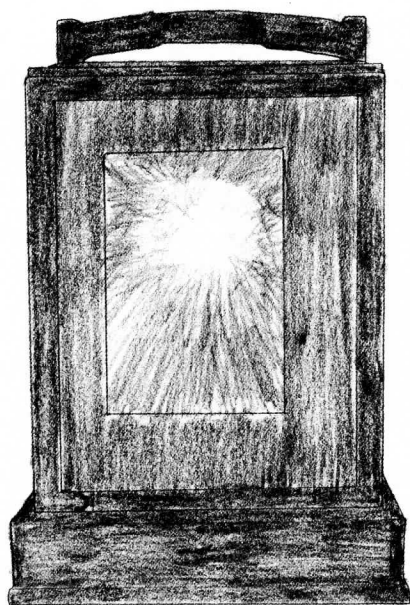
さら あぶら どうみょうざら  
皿に油を入れて使う灯明皿は、  
はこ い  
やがて紙をはった木の箱の中に入れて使うようになり  
ました。これを行灯といい、夜に部屋の中を明るくするために使いました。

ちょうちんは、ろうそくのあかりを持ち歩くための道具です。使わないときは、おりたたんで小さくできるのがべんりでした。

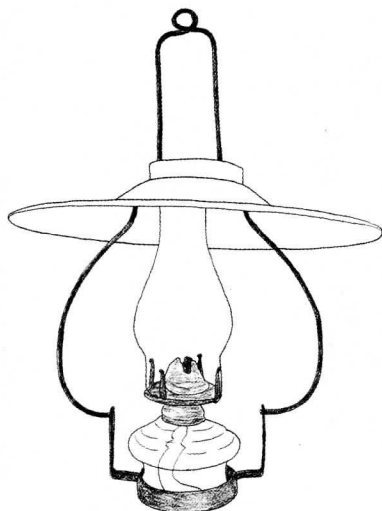
今から150年ほど前に、海外からランプがしょうかいされました。ランプは石油を使いますが、行灯などにくらべるとかなり明るかったので、みんなおどろいたようです。それからガスのあかり、電気でんきのあかりと変わっていきました。

今では、あかりといえば蛍光灯やLEDなどの電気でんきのあかりがあたりまえとなっていますが、電気でんきが家庭のあかりとして使われるようになってから、まだ100年ほどしかたっていないのです。

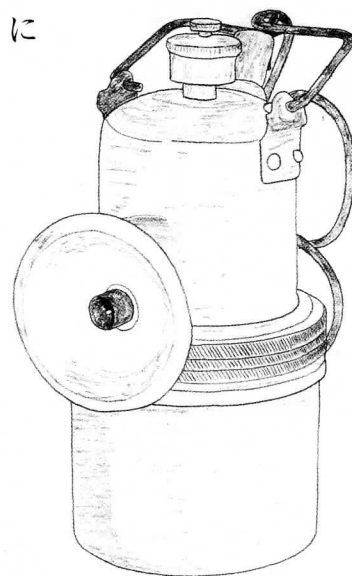
むかし人は、暗いなかで少しのあかりによろこんだようです。わたしたちは、夜でも昼のように明るい生活せいかつになれてしまっていますが、節電せつでん、省エネのためにも今の生活をみなおすことがひつようなのではないのでしょうか。



ありあけあんどん  
有明行灯



つり  
吊ランプ



アセチレン灯